

阿蘇広域行政事務組合
循環型社会形成推進地域計画書

(変更)

(平成21年2月)

阿蘇広域行政事務組合

目 次

1 地域計画の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

- (1) 対象地域 1
- (2) 計画期間 1
- (3) 基本的な方向 2
- (4) 広域化の検討状況 3

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

- (1) 一般廃棄物等の処理の現状 4
- (2) 生活排水の処理の状況 4
- (3) 一般廃棄物等の処理の目標 5
- (4) 生活排水の処理の目標 6

3 施策の内容

- (1) 発生抑制、再使用の推進 7
- (2) 処理体制の構築、変更 8
- (3) 処理施設の整備 11
- (4) 施設整備に関する計画支援事業 12
- (5) その他の施策 13

4 計画のフォローアップと事後評価

- (1) 計画のフォローアップ 14
- (2) 事後評価及び計画の見直し 14
- 様式 1 15
- 様式 2 18
- 様式 3 19
- 参考様式 1 20
- 参考様式 6 23
- 別添 1 現状と目標のトレンドグラフ 25
- 別添 2 整備計画位置図、現有施設の概要 28

参考資料-1 整備施設概要図

阿蘇広域行政事務組合 循環型社会形成推進地域計画（一部変更）

阿蘇広域行政事務組合

阿蘇市

南小国町

小国町

産山村

高森町

南阿蘇村

西原村

平成21年 2月10日

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村
面 積 1,078.98km²
人 口 70,706 人

※但し、西原村は生活排水のみが対象

表 1 阿蘇広域行政事務組合各自治体の人口及び面積

市町村名	面 積	人 口
阿 蘇 市	376.25 km ²	29,862 人
南小国町	115.86 km ²	4,686 人
小 国 町	136.72 km ²	8,659 人
産 山 村	60.72 km ²	1,763 人
高 森 町	174.9 km ²	7,110 人
南阿蘇村	137.3 km ²	12,498 人
西 原 村	77.23 km ²	6,128 人
合 計	1078.98 km ²	70,706 人



(2) 計画期間

本計画は、平成 18 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの 5 年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

阿蘇広域行政事務組合（以下「本組合」という。）は熊本県の東北部に位置する九州のほぼ中央にあり、北側、東側は大分県、南側は山都町、御船町、宮崎県、西側は菊池市、大津町、菊陽町、益城町にそれぞれ隣接している。熊本空港、熊本市内にも比較的近い。地形的には、阿蘇山麓に位置するため、高原とそれをとりまくなだらかな斜面、盆地等で形成され、自然景観に非常に恵まれ、観光に訪れる人の絶えない地域である。

本組合圏域における主な産業は、農業と観光である。農業は以前、米作を中心とした単作農業だったが、近年では基盤整備により生産性の向上を図り、高原作物やトマト、イチゴ、メロン等も栽培されるようになり、複合経営が行われるようになった。また、阿蘇山麓では、牧野・草地改良が進み、肥後牛の生産、乳牛、養豚等の畜産も盛んになった。

一方、商業・工業については、いずれも小規模経営が多いため、顕著な発展傾向は見られないが、自然景観や温泉といった観光資源に恵まれていることから、観光産業の発展に努めている。これら観光産業の発展に伴い観光ごみの発生が見られる。

本組合のごみの排出量は、全国及び熊本県内でも低いレベルにあり、住民のごみ減量化に対する意識は非常に高いと思われる。

本組合では、大阿蘇環境センター未来館 RDF 施設の整備により、可燃ごみは大牟田 RDF 発電施設でのサーマルリサイクルが達成されているが、さらなるごみの減量化、再資源化を推進するために様々な施策を展開する方針である。これら施策による資源物回収の増加に対応するために、ストックヤード等を整備するものである。

なお、各種計画及び方針との関係は、次のとおりである。

計画及び方針	整合性等
一般廃棄物処理計画	本地域計画に合わせ見直し中（17年度策定予定）
廃棄物処理法第5条の2 「環境大臣の基本方針」	排出量5%削減 ⇒ 平成16年度実績ごみ排出量の5%削減
	資源化量の目標達成 ⇒ 平成16年度実績回収量の向上及び総資源化量同等以上の維持

(4) 広域化の検討状況

本組合は、熊本県策定の「熊本県一般廃棄物処理広域化計画」（平成 11 年 3 月策定）において県北ブロックに位置付けられており、県北ブロックの計画内容は「大牟田市の R D F 発電所への搬入を前提とした R D F 施設の整備。R D F 化が不利な地域にあつては、当面、100 t / 日規模以上の施設整備を目標としたごみ処理体制を形成する。」と策定されている。本組合では広域化計画に従い、平成 1 4 年度に大阿蘇環境センター未来館 R D F 施設（62 t / 日）を整備済みであり、組合全体として一般廃棄物の処理を実施しており、すでに広域化計画の目標はほぼ達成されている。

大阿蘇環境センター未来館 R D F 施設の整備により、可燃ごみは大牟田 R D F 発電施設でのサーマルリサイクルが達成されているが、本組合ではさらなるごみの減量化、再資源化を推進するために様々な施策を展開する方針である。これら施策による資源物回収の増加に対応するために、ストックヤード等を整備するものである。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成16年度における本組合全体の一般廃棄物の排出、処理状況は、図1のとおりである。

本組合の平成16年度の総排出量は19,583トンであり、再生利用される「総資源化量」は8,760トン、リサイクル率（総資源化量÷総排出量）は44.7%である。

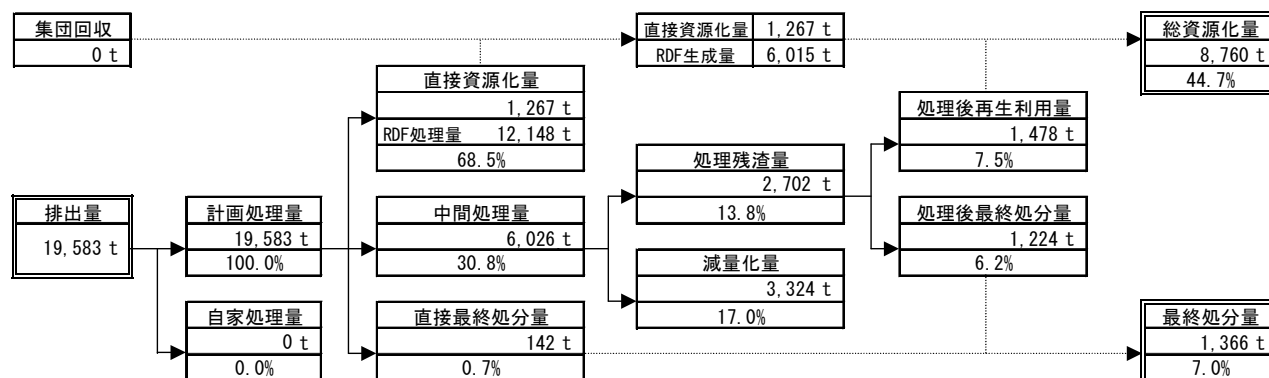


図1 阿蘇広域行政事務組合ごみ処理状況フロー（平成16年度）

(2) 生活排水の処理の現状

本組合の平成16年度の生活排水の排出及び処理状況は、図2のとおりである。

生活排水処理対象人口は全体で70,706人であり、水洗化人口は22,699人、汚水衛生処理率（＝公共下水道処理人口＋集落排水処理人口＋合併処理浄化槽処理人口）／総人口）は32.1%である。

し尿発生量は14,294kL／年、浄化槽汚泥発生量は19,897kL／年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は34,191kL／年である。

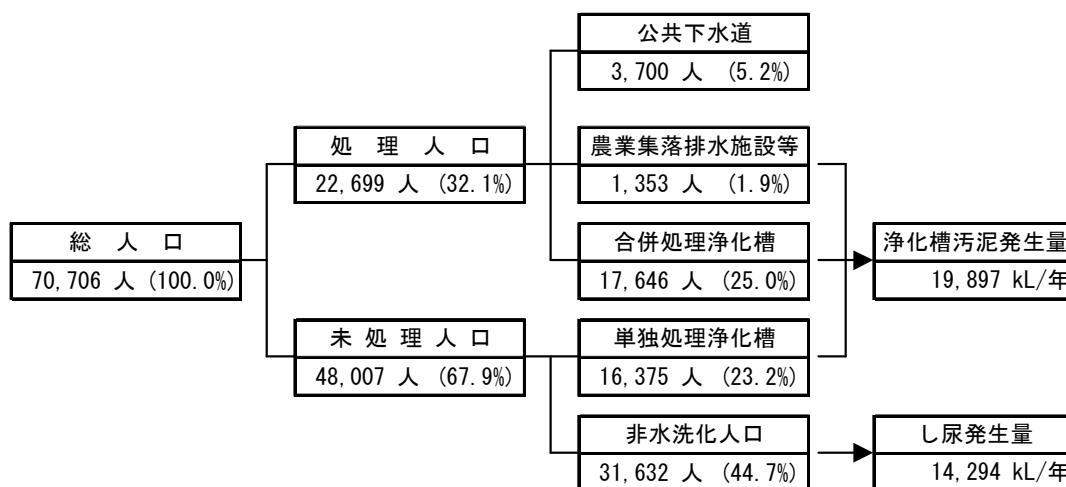


図2 阿蘇広域行政事務組合の生活排水の処理状況フロー

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表 2 のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

参考として、別添 1 に本組合のごみ排出量の現状と目標のトレンドグラフを添付する。

表 2 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標	現 状 (割合※ ¹) 平成16年度	目 標 (割合※ ¹) 平成23年度	
排 出 量	事業系総排出量	7,059 トン	6,125 トン (-13.2%)
	1事業所当たりの排出量※ ²	2.15 トン/事業所	1.90 トン/事業所 (-11.6%)
	家庭系総排出量	12,524 トン	12,443 トン (-0.7%)
	1人当たりの排出量※ ³	193 kg/人	192 kg/人 (-0.5%)
	事業系家庭系排出量合計	19,583 トン	18,568 トン (-5.2%)
再 生 利 用 量	直接資源化量	13,415 トン (68.5%)	12,767 トン (68.8%)
	総資源化量	8,760 トン (44.7%)	8,524 トン (45.9%)
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量)	—	—
減 量 化 量	中間処理による減量化量	3,324 トン (17.0%)	3,012 トン (16.2%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	1,366 トン (7.0%)	1,299 トン (7.0%)

※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = {(事業系ごみの総排出量) - (事業系ごみの資源ごみ量)} / (事業所数)

※3 (一人当たりの排出量) = {(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)} / (人口)

《指標の定義》

排出量：事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量（集団回収されたごみを除く）〔単位：トン〕

再生利用量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用の和〔単位：トン〕

熱回収量：熱回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位：MWh〕

減量化量：中間処理量と処理後の残渣の量〔単位：トン〕

最終処分量：埋立処分された量〔単位：トン〕

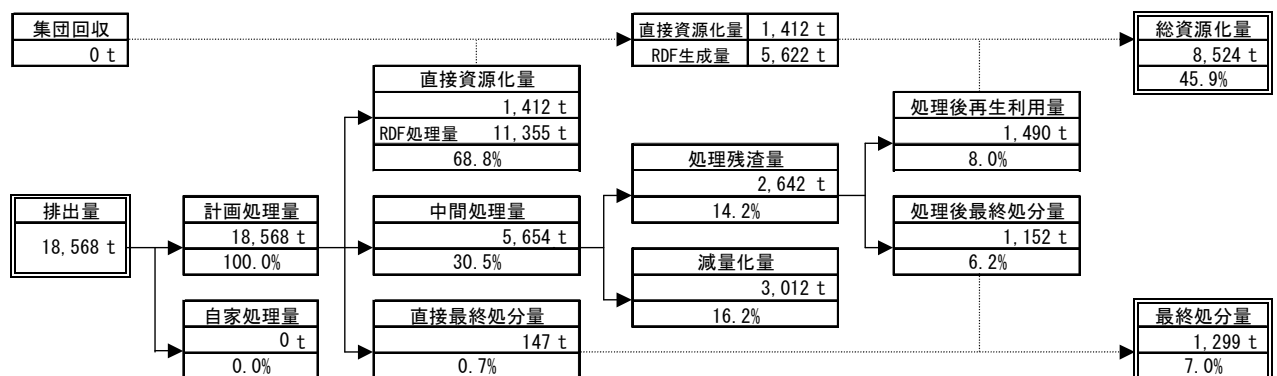


図 3 目標達成時のごみ処理状況フロー（平成 23 年度）

(4) 生活排水の処理の目標

平成16年度の本地域内の排出、処理状況は表3のとおりである。

本計画の計画期間中においては、水環境の保全を含め循環型社会の実現を目指し、表3のとおり目標値を定め、下水道計画等との整合性を図りつつ、財政状況、処理施設の耐用年数等を検討の上それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

		平成16年度実績	平成23年度目標
処理形態別人口	公共下水道	3,700人 (5.2%)	7,562人 (10.6%)
	農業集落排水施設等	1,353人 (1.9%)	2,869人 (4.0%)
	合併処理浄化槽等	17,646人 (25.0%)	27,954人 (39.2%)
	未処理人口 [※]	48,007人 (67.9%)	32,892人 (46.2%)
合計		70,706人 (100%)	71,277人 (100%)
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	14,294 kL	9,392 kL
	浄化槽汚泥量	19,897 kL	23,423 kL
	合計	34,191 kL	32,815 kL

表3 生活排水処理に関する現状と目標

※) 未処理人口は(単独処理浄化槽人口+非水洗化人口)

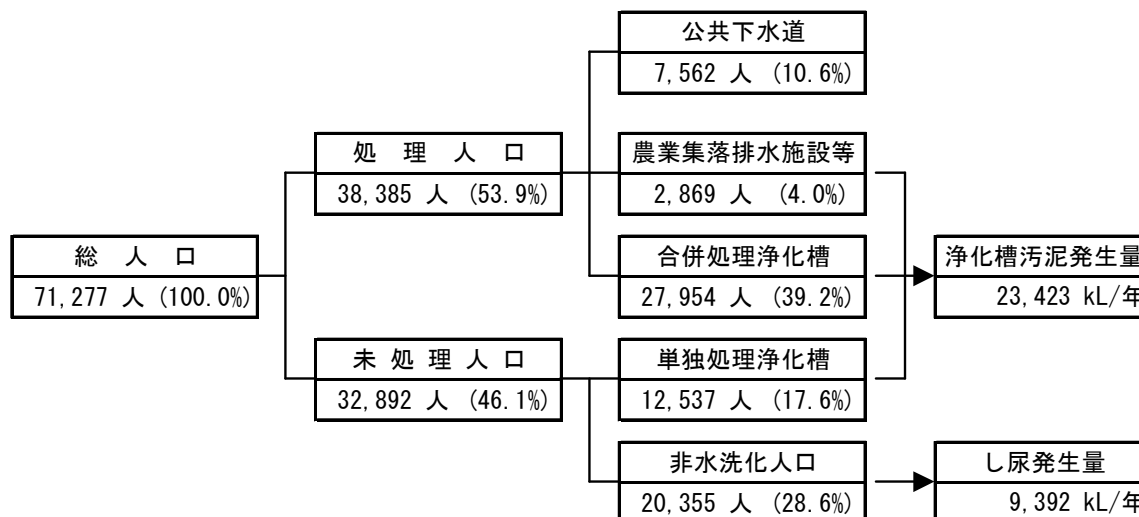


図4 目標達成時の生活排水処理の処理状況フロー

《指標の定義》

生活排水処理人口：公共下水道、集落排水施設等（簡易排水施設を含む）及び合併処理浄化槽（コミュニティプラントを含む）により生活排水を処理している人口。

汚水衛生処理率：外国人登録人口を含む総人口のうちの生活排水処理人口の割合

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

本組合では、ごみの発生抑制、再使用の促進施策として、以下のものを実施する方針である。

表4 発生抑制、再使用の推進施策一覧

施策項目	既存施策（具体的内容）	新規施策（具体的内容）	計画 検討時期	実施 時期
有料化	可燃・不燃ごみは、指定袋による有料収集を実施している。	引き続き、指定袋収集による有料収集を実施する。	継続	継続
	事業系ごみは直接搬入のみとしており、有料にて処理をしている。	引き続き、有料化を継続するが、減量化を意識した料金設定の見直しを適宜実施する。		
	粗大ごみは北部・中部地区では直接搬入のみとしており、50kg未满是無料にて処理を行っている。南部地区の粗大ごみはシールを販売による有料収集を行っている。	北部・中部地区の粗大ごみ処理の料金設定、重量設定等の減量化を意識した見直し等を検討中である。		
環境教育	自治会、学校、各種団体などに対し、ごみ処理施設見学等を通じて環境教育を行っている。	引き続き、施設見学等を通じて環境教育を行う。 また適宜、自治会、学校、各種団体などに対し、積極にごみの排出抑制・再資源化・減量化の説明会を開催する。 住民を対象とした「ごみ体験ツアー」を実施し、ごみの現状及びごみに対する意識の高揚を図る。	継続	継続
普及啓発	ごみゼロ運動、イベント等を通じて3Rの普及を行っている。	広報、副読本、ポスターを作成し、ごみの減量化、資源化を訴える。 引き続きイベント等を通じて3Rの普及啓発、住民意識の高揚を図る。	継続	継続
助成	コンポスター設置補助を実施している。	引き続き、コンポスター設置補助を推進していく。	継続	継続
マイバッグ運動 レジ袋対策	マイバック携帯の啓発を行っている。	適宜マイバッグキャンペーン等を実施する。	継続	継続
再使用の促進	施設に持ち込まれた再使用可能なものを抽選で配布している。またフリーマーケットを開催している。	引き続きこれら施策を継続するとともに、やむを得ず不要となる家電製品、家具等について不用品等交換会制度の設置及び不用品交換情報等のシステム導入を検討する。	継続	継続
生活排水対策	水環境保全に対して、生活排水処理対策が果たす役割、効果の啓発及び発生源（台所）における汚濁負荷量の削減の啓発活動を実施している。	引き続き汚濁負荷量削減及び浄化槽の適正管理のための広報、啓発活動を行う。	継続	継続

(2) 処理体制の構築、変更

ア 家庭系ごみの処理体制の現状と今後

本組合構成市町村（西原村を除く）全域を収集範囲とし、阿蘇市、産山村の中部地区、高森町、南阿蘇村の南部地区、南小国町、小国町の北部地区の3地区としている。ごみの分別は中部地区で3種類8分別、南部地区で4種類9分別、北部地区で3種類9分別として分別排出、リサイクル推進に努めている。分別方法はほぼ統一されており、今後もこの分別区分とする見通しである。

また、本組合のごみの排出量は、全国及び熊本県内でも低いレベルにあり、住民のごみ減量化に対する意識は非常に高いと思われる。今後もごみ減量化、リサイクルの推進に対する住民意識の維持が行えるよう、イベント、広報などを通じて啓発・啓蒙活動を実施していく方針である。

なお、稼働停止している旧焼却炉（南部清掃センター及び中部清掃センター）は、施設内に粉じん等が堆積している。これら粉じん等による周辺環境の汚染を未然に防止するために、安全かつ適正に解体する。解体後の跡地には将来の資源化量の増加への対応や効率的な資源物の収集運搬を図るため、ストックヤードを整備するものである。

また、現在、焼却処理している北部地区処理計画区域の可燃ごみを資源として有効利用するため、焼却処理を中止してごみ燃料化（RDF）処理に全面的に移行する。

そのため、現在稼働中である北部地区のごみ焼却施設（滝美園クリーンセンター）内に、RDFによる資源化対象可燃ごみのストックヤードを整備するものである。

さらに滝美園クリーンセンターのストックヤードの整備事業によって増加するごみ燃料化（RDF）処理量に対応するため、既設のごみ燃料化施設（大阿蘇環境センター未来館）の処理時間を延長（8時間/日→12時間/日）して対応する計画である。

そのため、新たに発生する固形燃料を搬出するまでの施設を整備する必要が生じ、可燃ごみを資源として有効利用しリサイクルを推進するため、マテリアルリサイクル推進施設として既設のごみ燃料化施設（大阿蘇環境センター未来館）内にごみの資源化（燃料化）設備を新たに整備するものである。

イ 事業系一般廃棄物の現状と今後

本組合の事業系ごみについては何らかの事業活動を行っているところを事業所として位置付け、そこから排出されるごみを事業系ごみとして処理している。

事業系ごみについては直接搬入のみとし、以下の方針に基づき処理する。

- | |
|--|
| <p>①本組合の条例・規則などで、ごみの種別に受入品目の基準と品目名を明記し、適正処理困難物は受け入れないものとする。</p> <p>②事業系ごみの多量排出者に対し、ごみ減量化を指導する。</p> <p>③事業系ごみについては、有料とする。</p> |
|--|

なお、今後もこれら施策を継続して実施し、事業系ごみのさらなる減量化に努める方針である。

ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

原則として取り扱わない。

エ 生活排水処理の現状と今後

本地域より発生するし尿及び浄化槽汚泥の処理については、現在は本組合のし尿処理施設である衛生処理センター（処理対象：阿蘇市、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村）及び滝美園（処理対象：南小国町、小国町）で処理を行っているが、衛生処理センターについては平成 16～18 年度において汚泥再生処理センターへの更新工事を行っており、施設稼働後は発生する処理汚泥を有機性廃棄物とともに資源化有効利用を図っていく方針である。

オ 今後の処理体制の要点

循環型社会の構築に向けた、主な方針は次のとおりである。

- 現行の分別区分や収集・運搬体制に基づき、循環型社会の構築に向けて、環境への影響も配慮した適正かつ効率的な中間処理体制の構築、維持に努めるために、旧焼却施設の解体を行い、南部中継基地の継続活用やストックヤードの整備により効率的な収集運搬体制を構築する方針である。
また、ごみ固形燃料化の増量による資源化有効利用を図る方針である。
- 事業系ごみについては、水切りの励行等により、計画目標年次に向けたごみ減量化に努める方針である。
- 今後も産業廃棄物の処理は実施しない方針である。
- 汚泥再生処理センターにより、汚泥等の有機性廃棄物の資源化有効利用を図る方針である。

表5 阿蘇広域行政事務組合のごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (平成16年度実績)		今 後 (平成23年度)				
分別区分	中部地区		南部地区		北部地区	
	阿蘇市・彦山村	高森町・南阿蘇村	阿蘇市・彦山村	高森町・南阿蘇村	南小国町・小国町	処理計画(トン)
可燃ごみ	処理施設	大阿蘇環境センター未整備 (リサイクル施設)	大阿蘇環境センター未整備 (RDF施設)	大阿蘇環境センター未整備 (リサイクル施設)	大阿蘇環境センター未整備 (RDF施設)	3,669
	処理方法	ごみ焼却化	ごみ焼却化	ごみ焼却化	ごみ焼却化	
不燃ごみ	処理施設	中部圏焼却分場	中部圏焼却分場	中部圏焼却分場	中部圏焼却分場	28
	処理方法	焼却選別	焼却選別	焼却選別	焼却選別	
資源ごみ	処理施設	中部圏焼却分場	中部圏焼却分場	中部圏焼却分場	中部圏焼却分場	105
	処理方法	リサイクル	リサイクル	リサイクル	リサイクル	
	缶・びん類	1,014	675	1,124	507	312
	新聞	457	283	300	124	375
	雑誌	271	118	174	110	168
	段ボール	157	104	52	58	113
	ペットボトル	47	46	33	28	185
	缶類	52	25	31	24	28
	牛乳パック	30	23	—	—	28
	雑大ごみ [※]	—	—	14	—	—
雑大ごみ [※]	33	114	14	14	70	
雑大ごみ [※]	—	—	—	—	—	
雑大ごみ [※]	2	2	—	—	2	
雑大ごみ [※]	163	163	14	14	114	

※中部地区、北部地区の雑大ごみは直接搬入のみ

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設

ごみ処理については、適正かつ効率的な中間処理体制の確立、廃棄物の適正処理等を行うため、表6のとおり必要施設の整備を行う。施設整備後の廃棄物処理フローは図5に示すとおりである。

表6 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	マテリアルリサイクル推進施設	ストックヤード整備事業	約180m ²	阿蘇郡高森町大字色見1997番地2 南部清掃センター跡地	平成19年度～平成20年度
2	マテリアルリサイクル推進施設	ストックヤード整備事業	約180m ²	阿蘇市黒川1893番地1 中部清掃センター跡地	平成20年度～平成21年度
5	マテリアルリサイクル推進施設	ストックヤード整備事業	20t/日	阿蘇郡小国町宮原2941番地	平成20年
6	マテリアルリサイクル推進施設	ストックヤード整備事業	10t/日	阿蘇市跡ヶ瀬177番地	平成20年

(整備理由)

- 事業番号1 南部清掃センターの解体及び資源化物の一時保管場所の確保
- 事業番号2 中部清掃センターの解体及び資源化物の一時保管場所の確保
- 事業番号5 滝美園クリーンセンターのRDFによる資源化対象可燃ごみの一時保管場所の確保
- 事業番号6 大阿蘇環境センター未来館 事業番号5の可燃ごみを処理したRDFの一時保管場所の確保

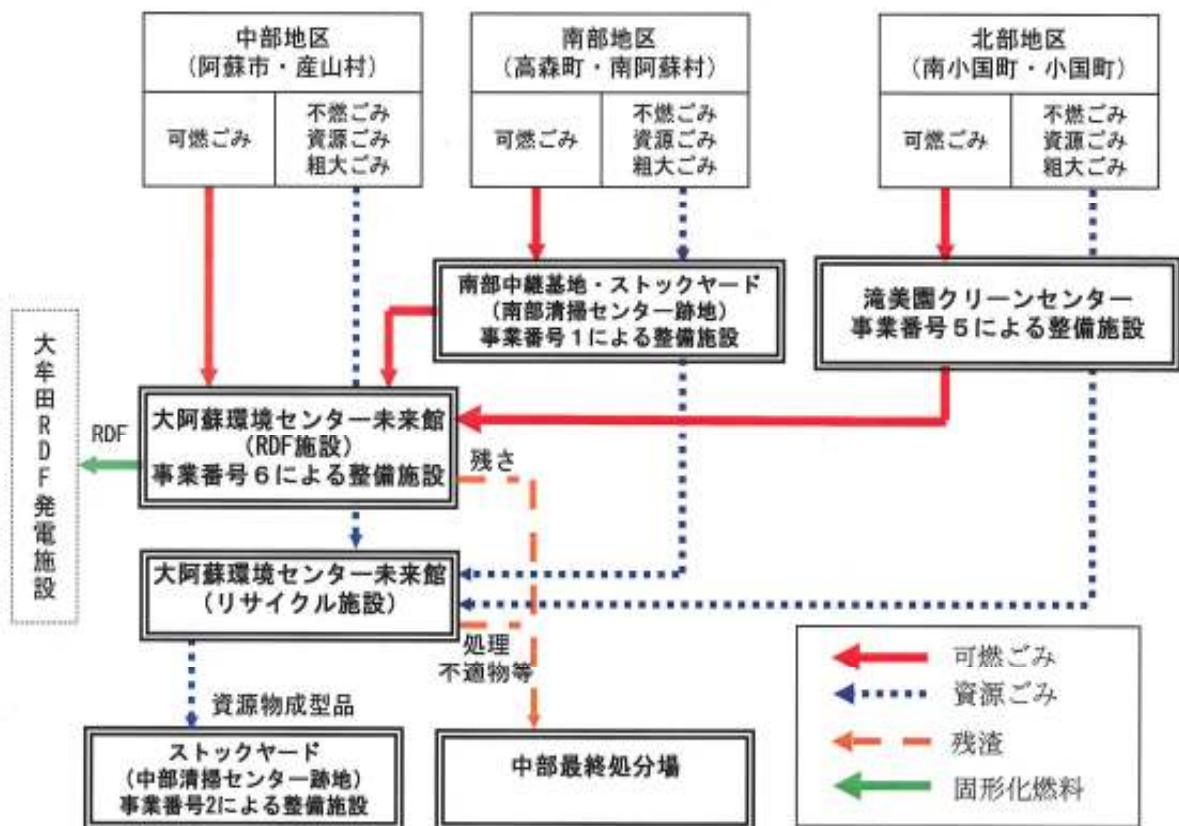


図-5 施設整備後の廃棄物処理フロー (案)

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表 8 のとおり計画支援事業を行う。

表 8 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
31	ストックヤード整備事業に係る調査・設計等業務(事業番号 1 の計画支援)	廃焼却炉解体前のダイオキシン類調査及び設計業務	平成 18 年度
32	ストックヤード整備事業に係る調査・設計等業務(事業番号 2 の計画支援)	廃焼却炉解体前のダイオキシン類調査及び設計業務	平成 19 年度

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 再生利用品の需要拡大事業

ごみ固形燃料化（RDF）施設にて燃料化されたごみは、大牟田 RDF 発電施設（大牟田エコタウン発電事業）にてサーマルリサイクルの一環として発電燃料として使用している。

今後も RDF 発電施設でのサーマルリサイクルを継続し、廃棄物の熱エネルギーの回収に努める方針である。

イ 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電製品類（テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン）は、本組合において、原則として処理対象外であるが、やむを得ず本組合施設へ搬入された場合（住民の直接搬入）、製造業者等（または指定法人）に引き渡している。

今後も廃家電製品類の処理方法に関してパンフレット、ポスター等を通じて、適正処理のあり方の啓発を実施する方針である。

ウ 不法投棄対策

不法投棄については、産業廃棄物を主管する各地域の保健所等と連携を図りながら、パトロールの強化や街灯の設置などを行い、不法投棄防止を図る。

各地域において、不法投棄防止の看板や車輛進入防止柵等を共同で作成し、不法投棄の起こりやすい場所に設置するなどしている。

今後も全体で連携を図り、不法投棄防止への取り組みを強化していく。

エ 災害時の廃棄物処理に関する事項

それぞれの市町村が策定したマニュアルや今後策定予定の市町村震災廃棄物処理計画等を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連携体制を構築する。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本組合の市町村は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表する。また、定期的に阿蘇広域行政事務組合各市町村、熊本県等の関係機関及び関係者を対象に現状確認のための連絡会等を組合主催にて開催する。内容としては、目標達成に向けた施策・減量化の進捗状況の確認、達成率等の把握等を行う。目標の達成状況等を勘案した上で、必要に応じて計画の見直し等を協議し、目標達成に努めるものである。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成 18 年度)

1 地域の概要

(1) 地域名	阿蘇広域行政事務組合	(2) 地域内人口	70,706 人	(3) 地域面積	1,078.98km ²
(4) 構成市町村等名	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村				
(5) 地域の要件*	<input checked="" type="radio"/> 人口 <input checked="" type="radio"/> 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他				
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況					
①組合を構成する市町村：阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村 ②設立年月日： 昭和 63 年 4 月 設立、認可 ③設立されていない場合、今後の見通し：					

* 交付要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目全てに○を付ける。

指標・単位		過去の状況・現状 (排出量に対する割合)						目 標
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成23年度
排 出 量	事業系総排出量 (トン)	9,573	9,493	8,789	8,147	7,059	集計中	6,125 (H16比 -13.2%)
	1 事業所当たりの排出量 (トン/事業所)	2.74	2.76	2.59	2.44	2.15		1.90
	家庭系総排出量 (トン)	13,691	12,966	12,914	12,545	12,524		12,443 (H16比 -0.5%)
	1 人当たりの排出量 (kg/人)	208	195	193	192	193		192
	事業系家庭系排出量合計 (トン)	23,264	22,459	21,703	20,692	19,583		18,568 (H16比 -5.2%)
再 生 利 用 量	直接資源化量 (トン)	4,242 (18.2%)	1,105 (4.9%)	13,015 (59.9%)	15,459 (74.7%)	13,415 (68.5%)	集計中	12,767 (68.8%)
	総資源化量 (トン)	4,242 (18.2%)	887 (3.9%)	3,741 (17.2%)	8,756 (42.3%)	8,760 (44.7%)		8,524 (45.9%)
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量 MWh)	—	—	—	—	—	—	—
中間処理による減量化量	減量化量 (中間処理前後の差 トン)	16,680 (71.6%)	16,829 (74.9%)	4,795 (22.0%)	3,163 (15.2%)	3,324 (17.0%)	集計中	3,012 (16.2%)
最 終 処 分 量	埋立最終処分量 (トン)	2,342 (10.0%)	3,638 (16.1%)	1,392 (6.4%)	559 (2.7%)	1,366 (7.0%)	集計中	1,299 (7.0%)

2 減量化、再生利用の現状と目標

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(別紙参考を参照)

3 現有施設の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	実施主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考 (施設名称)
		型式及び処理方式	補助の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新 廃止予定年月	更新、廃止理由	型式及び処理方式	施設竣工 予定年月	処理能力(単位)	
エネルギー回収施設	阿蘇広域行政事務組合	固形燃料化施設	有	62 t /8h	H14. 8					88 t /12h	大阿蘇環境センター未来館 (RDF 施設) 計画処理区域の拡大に伴い稼働時間を延長して処理能力の拡充を図る
エネルギー回収施設	阿蘇広域行政事務組合	機械化バッチ焼却炉(ストーカ方式)	有	22 t /日	S60. 11	H14. 8	施設老朽化のため廃止、収集ごみからの直接資源化物の保管場所の整備	ストックヤード	H21. 4	約 518 m ²	大阿蘇環境センター未来館 南部中継基地 (南部清掃センター)
エネルギー回収施設	阿蘇広域行政事務組合	機械化バッチ焼却炉(ストーカ方式)	有	25 t /日	S55. 3	H14. 8	施設老朽化のため廃止、リサイクル施設からの資源物の保管場所確保	ストックヤード	H22. 4	約 180m ²	中部清掃センター
エネルギー回収施設	阿蘇広域行政事務組合	機械化バッチ焼却炉(ストーカ方式)	有	20 t /日	H7. 3	H21. 4 (休止)	焼却処理を中止してごみ燃料化(RDF)処理に全面的に移行				滝美園クリーンセンター
マテリアルリサイクル推進施設	阿蘇広域行政事務組合	資源化施設	有	36t/5h	H15. 4						大阿蘇環境センター未来館 (リサイクル施設)
マテリアルリサイクル推進施設	阿蘇広域行政事務組合							ストックヤード	H21. 3	10t/日	大阿蘇環境センター未来館
マテリアルリサイクル推進施設	阿蘇広域行政事務組合							ストックヤード	H21. 3	20t/日	滝美園クリーンセンター
循環型形成の基盤となる最終処分場	阿蘇広域行政事務組合	管理型	有	54,000m ³	H3. 5		—	—	—	—	中部最終処分場
循環型形成の基盤となる最終処分場	阿蘇広域行政事務組合	安定型	有	720,000m ³	S48. 2	H10					城村最終処分場(閉鎖中)
し尿処理施設 (汚泥再生処理センター)	阿蘇広域行政事務組合	浄化槽汚泥対応型 生物学的脱窒素処理+高度処理(加圧浮上)	有	36kL/日	S43. 3	H19. 3	海洋投入の禁止、 処理能力の不足、 施設の老朽化のため	浄化槽汚泥の混入 比率の高い脱窒素 処理方式 +汚泥堆肥化方式	H19. 3	91kL/日	衛生処理センター (廃棄物処理施設整備費国庫補助金による整備)
し尿処理施設	阿蘇広域行政事務組合	低希釈二段活性汚泥法処理+高度処理	有	18kL/日	H2. 3						滝美園し尿処理場

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付した。

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状					目標	
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成23年度
総人口		71,350	72,026	72,921	71,103	70,706	集計中	71,277
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口	3,000	3,131	3,154	3,457	3,700	集計中	7,562
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	4.2%	4.3%	4.3%	4.9%	5.2%		10.6%
集 落 排 水 施 設 等	汚水衛生処理人口	856	983	1,021	1,071	1,353	集計中	2,869
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.2%	1.4%	1.4%	1.5%	1.9%		4.0%
合 併 処 理 浄 化 槽 等	汚水衛生処理人口	10,893	12,606	14,492	15,584	17,646	集計中	27,954
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	15.3%	17.5%	19.9%	21.9%	25.0%		39.2%
未 処 理 人 口	汚水衛生未処理人口	56,601	55,306	54,254	50,991	48,007	集計中	32,892

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(別紙参考を参照)

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 (平成18年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規 模			総事業費 (千円)					交付対象事業費 (千円)					備 考					
			単位	開始	終了	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	事業期間 交付期間	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度		平成22年度				
〇マテリアルリサイクル推進施設に関する事業						734,135	0	69,524	582,611	82,000	0	734,135	0	69,524	582,611	82,000	0				
ストックヤード整備事業 (南部清掃センター跡地)	1	阿蘇広域 行政事務組合	約180	m ²	H19	H20	111,385	0	69,524	41,861	0	0	111,385	0	69,524	41,861	0	0	解体工事含む		
ストックヤード整備事業 (中部清掃センター跡地)	2	阿蘇広域 行政事務組合	約180	m ²	H20	H21	235,750	0	0	153,750	82,000	0	235,750	0	0	153,750	82,000	0	0	解体工事含む	
ストックヤード整備事業 (滝美園クリーンセンター)	5	阿蘇広域 行政事務組合	—		H20	H20	155,387	0	0	155,387	0	0	155,387	0	0	155,387	0	0	0	新規事業	
ストックヤード整備事業 (大阿蘇環境センター未来館)	6	阿蘇広域 行政事務組合	88	t	H20	H20	231,613	0	0	231,613	0	0	231,613	0	0	231,613	0	0	0	新規事業	
〇施設整備に関する計画支援に関する事業						15,280	7,510	7,770	0	0	0	15,280	7,510	7,770	0	0	0	0	0		
事業番号1の計画支援 廃焼却炉解体前のダイオキシン類調査及び設計業務	31	阿蘇広域 行政事務組合	—		H18	H18	7,510	7,510	0	0	0	0	7,510	7,510	0	0	0	0	0	0	
事業番号2の計画支援 廃焼却炉解体前のダイオキシン類調査及び設計業務	32	阿蘇広域 行政事務組合	—		H19	H19	7,770	0	7,770	0	0	0	7,770	0	7,770	0	0	0	0	0	
合 計						749,415	7,510	77,294	582,611	82,000	0	749,415	7,510	77,294	582,611	82,000	0	0	0		

※1 事業番号については、計画本文3(3)表4に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致させること。また、様式3に示す施策のうち関連するものがあれば、合わせて番号を記入すること。

※2 広域連合、一部事務組合等については、欄外に構成する市町村を注記すること。

※3 実施しない事業の欄は削除して構わない。

※4 同一施設の整備であっても、交付金を受ける事業主体ごとに記載する。

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧（今後行う施策）

施策種別	施策番号	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間 交付期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考
					開始	終了		平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	
発生抑制、 再使用の 推進に関するもの	11	有料化	ごみ処理料金の見直し、粗大ごみ処理の有料化等	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	事業方針の検討 事業の見直し実施等					
	12	環境教育	施設の見学受入、その他説明会等の実施	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	事業実施 新たな施策の検討					
	13	普及啓発	ごみゼロ運動、各種イベントを通じて3Rの普及	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	普及啓発					
	14	助成	コンポスター導入の助成	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	事業実施					
	15	マイバッグ運動 レジ袋対策	マイバック促進	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	事業実施					
	16	再使用の促進	フリーマーケットの開催、不用品の配布等の実施	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	事業実施 新たな施策の検討					
	17	事業系ごみの減量化	資源化・減量化計画の策定の推進、指導	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	事業者との協議 普及啓発					
	18	生活排水対策	汚濁負荷量削減の啓発活動の実施	阿蘇広域 行政事務組合	継続	継続	—	普及啓発					
処理施設 の整備に 関するもの	1	ストックヤード整備事業	廃焼却炉を解体し、跡地にストックヤードを整備	阿蘇広域 行政事務組合	H19	H20	○	建設工事					解体工事含む
	2	ストックヤード整備事業	廃焼却炉を解体し、跡地にストックヤードを整備	阿蘇広域 行政事務組合	H20	H21	○	建設工事					解体工事含む
	5	ストックヤード整備事業	滝美園クリーンセンターにストックヤードを整備	阿蘇広域 行政事務組合	H20	H20	○	整備 工事					
	6	ストックヤード整備事業	大阿蘇環境センター未来館にストックヤードを整備	阿蘇広域 行政事務組合	H20	H20	○	整備 工事					
施設整備 に係る計画 支援に関するもの その他	31	事業番号1の計画支援	廃焼却炉解体前のダイオキシン類調査及び設計業務	阿蘇広域 行政事務組合	H18	H18	○	調査 設計					
	32	事業番号2の計画支援	廃焼却炉解体前のダイオキシン類調査及び設計業務	阿蘇広域 行政事務組合	H19	H19	○	調査 設計					
	41	再生利用品の需要拡大 事業	ごみ燃料の発電燃料利用 (大牟田RDF発電施設)	阿蘇広域 行政事務組合	継続	H22	—	事業実施					
	42	家電のリサイクルに 関する普及啓発	家電リサイクル法に基づく 適正処理の普及啓発	阿蘇広域 行政事務組合	継続	H22	—	普及啓発					
	43	不法投棄対策	地域パトロールの強化、看板・不法投棄防止策や外灯の設置	阿蘇広域 行政事務組合	継続	H22	—	事業実施					
	44	災害時の廃棄物処理体制の整備	周辺市町村との連携体制の整備及び災害廃棄物の仮置場の確保。	阿蘇広域 行政事務組合	H18	H20	—	体制整備に向けた協議 体制の確立等					

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 熊本県

(1) 事業主体名	阿蘇広域行政事務組合 (阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村)
(2) 施設名称	ストックヤード (南部清掃センター跡地)
(3) 工期	平成19年度 ～ 平成20年度
(4) 施設規模	約518m ²
(5) 処理方式	—
(6) 地域計画内の役割	廃焼却炉（南部清掃センター）からの周辺環境への汚染を未然に防止するため安全かつ適正に解体し、ストックヤードを整備することで、収集される資源物量の増加に対処する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
(10) ストック対象物	収集資源物及び収集された資源ごみ及び資源ごみ中の内直接資源化が可能なもの
(12) 事業計画額	195,000千円

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 熊本県

(1) 事業主体名	阿蘇広域行政事務組合 (阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村)
(2) 施設名称	ストックヤード (中部清掃センター跡地)
(3) 工期	平成20年度 ～ 平成21年度
(4) 施設規模	約180m ²
(5) 処理方式	—
(6) 地域計画内の役割	廃焼却炉（中部清掃センター）からの周辺環境への汚染を未然に防止するため安全かつ適正に解体し、ストックヤードを整備することで、将来の資源化量の増加に対処する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
(10) ストック対象物	大阿蘇環境センター未来館リサイクル施設からの破碎・選別等処理後後の資源物成型品
(12) 事業計画額	200,000千円

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 熊本県

(1) 事業主体名	阿蘇広域行政事務組合 (阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村)
(2) 施設名称	滝美園クリーンセンター(ストックヤード整備)
(3) 工期	平成20年度
(4) 施設規模	20 t / 日
(5) 処理方式	—
(6) 地域計画内の役割	焼却処理を中止して、既設のごみ燃料化施設（大阿蘇環境センター未来館 RDF 施設）で資源として有効利用しリサイクルを推進する。また、RDFによる資源化対象可燃ごみの一時保管場所を確保する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(9) 固形燃料の利用計画	既設のごみ燃料化施設（大阿蘇環境センター未来館 RDF 施設）に搬出するため受入設備を整備して、可燃ごみを固形燃料として有効利用する。
(12) 事業計画額	155,387千円

施設概要（リサイクル施設系）

都道府県名 熊本県

(1) 事業主体名	阿蘇広域行政事務組合 (阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村)
(2) 施設名称	大阿蘇環境センター未来館(ストックヤード整備)
(3) 工期	平成20年度
(4) 施設規模	10 t / 日
(5) 処理方式	—
(6) 地域計画内の役割	ごみ燃料化（RDF）処理量の増加に伴い可燃ごみを資源として有効利用しリサイクルを推進する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
(9) 固形燃料の利用計画	既設のごみ燃料化施設内に、ごみの資源化（燃料化）設備を新たに整備して、可燃ごみを固形燃料として有効利用する。また、滝美園クリーンセンターで貯留された可燃ごみを処理したRDFの一時保管場所を確保する。
(12) 事業計画額	231,613千円

計画支援概要

都道府県名 熊本県

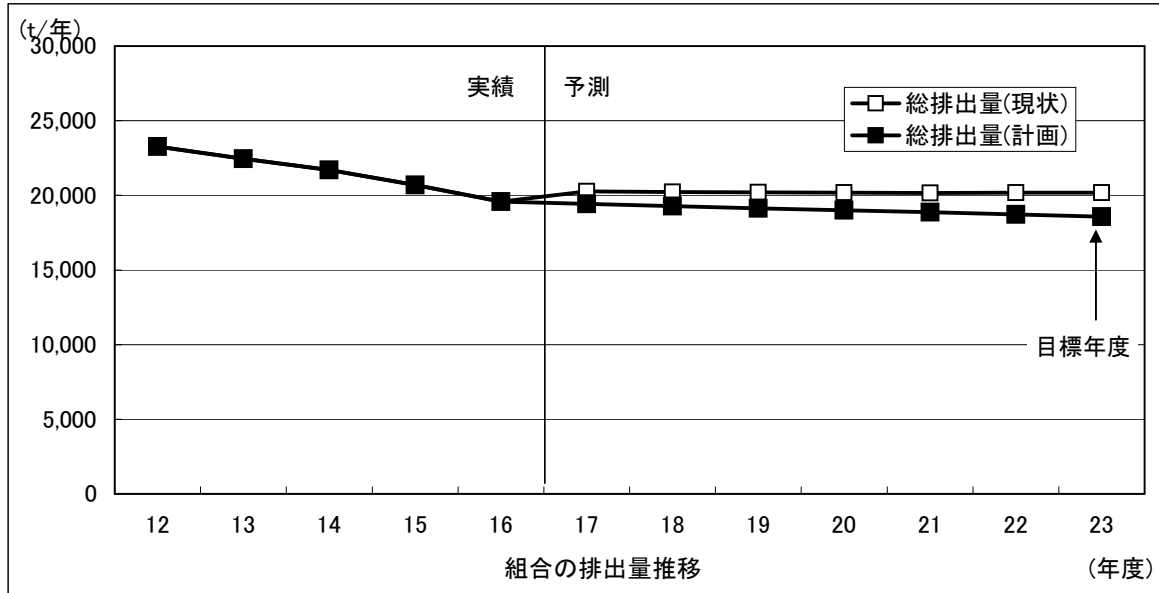
(1) 事業主体名	阿蘇広域行政事務組合 (阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村)	
(2) 事業目的	ストックヤード施設整備のため	
(3) 事業名称	ストックヤード整備事業 に係る調査・設計等業務 (事業番号1の計画支援)	ストックヤード整備事業 に係る調査・設計等業務 (事業番号2の計画支援)
(4) 事業期間	平成18年度	平成19年度
(5) 事業概要	廃焼却炉（南部清掃センター）解体に伴い、事前にダイオキシン類の調査、及び解体工事設計を行う。	廃焼却炉（中部清掃センター）解体に伴い、事前にダイオキシン類の調査及び解体工事設計を行う。
(6) 事業計画額	7,510千円	7,770千円

別添 1 現状と目標のトレンドグラフ

組合のごみ排出量の現状と目標

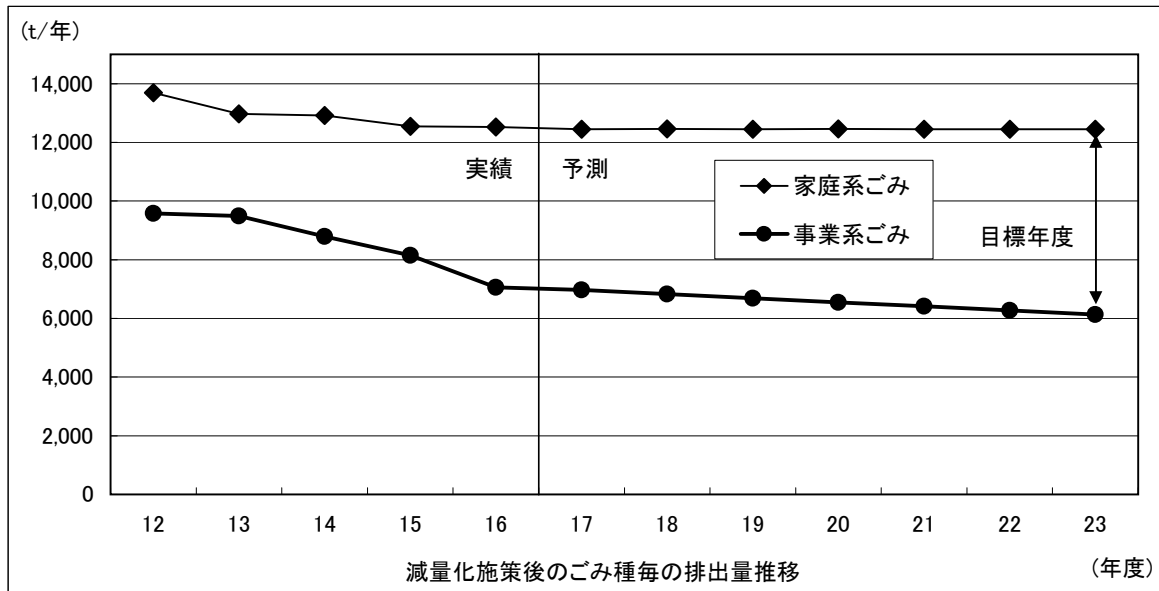
(単位:t/年)

	実績					予測						
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
総排出量(現状)	23,265	22,460	21,704	20,693	19,583	20,273	20,232	20,203	20,181	20,167	20,181	20,185
総排出量(計画)	23,265	22,460	21,703	20,693	19,585	19,418	19,283	19,137	18,999	18,860	18,714	18,568



(単位:t/年)

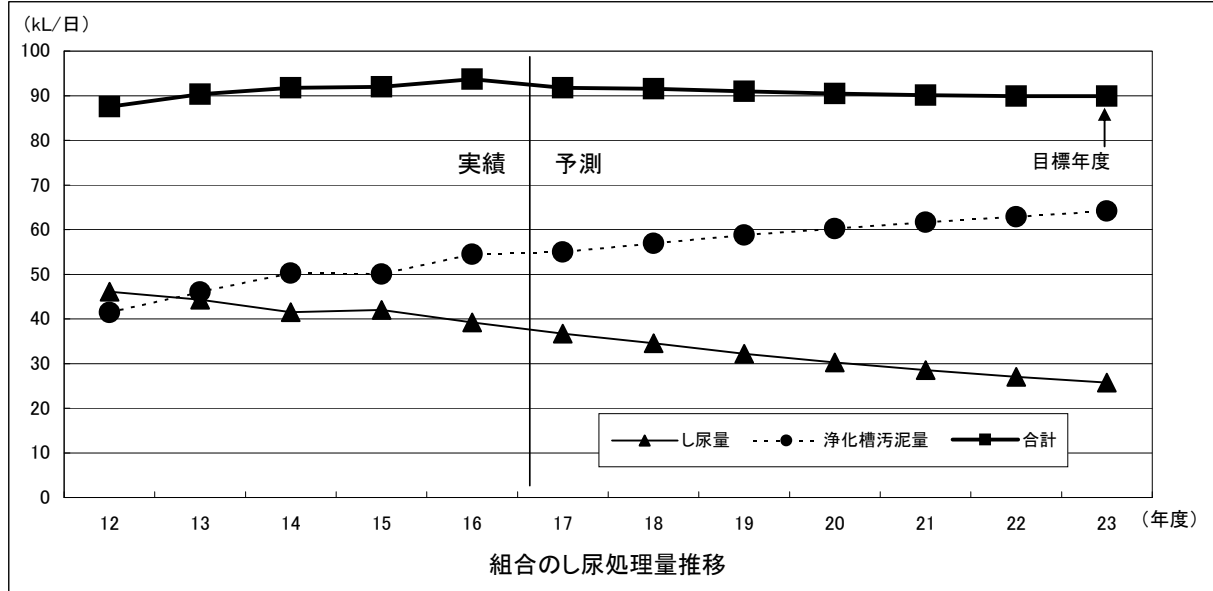
	実績					予測						
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
家庭系ごみ	13,692	12,968	12,916	12,547	12,525	12,451	12,458	12,451	12,455	12,451	12,448	12,443
事業系ごみ	9,575	9,494	8,789	8,148	7,061	6,968	6,827	6,687	6,546	6,410	6,268	6,126



組合の生活排水処理の現状と目標

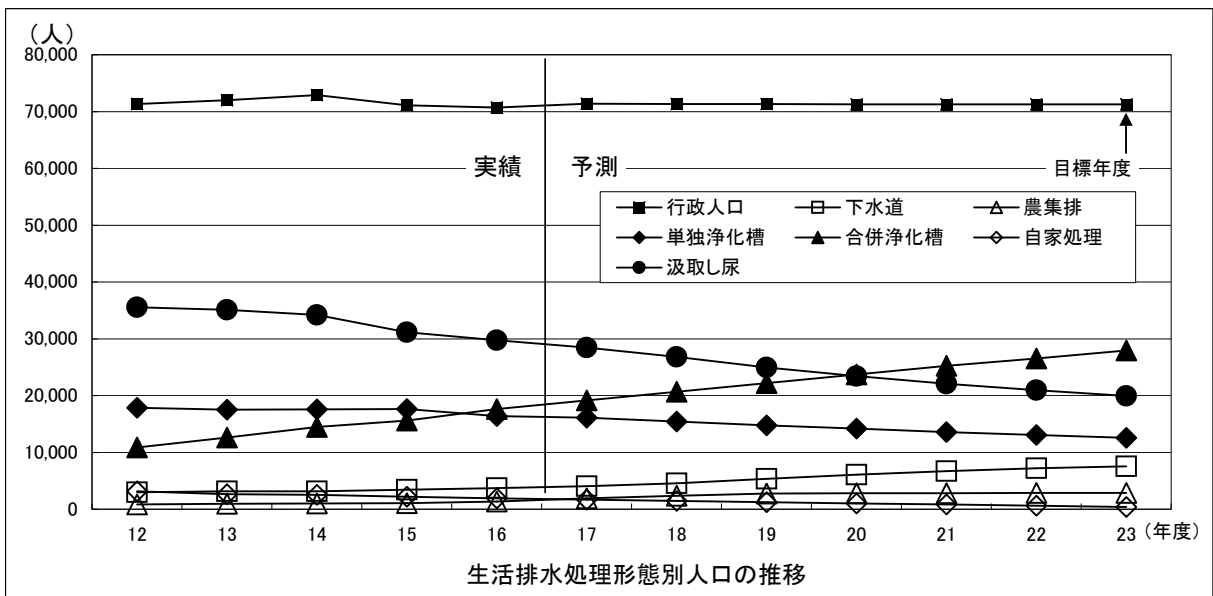
(単位:KL/日)

	実績					予測						
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
し尿 浄化槽	46.1	44.3	41.5	42.0	39.2	36.7	34.6	32.2	30.2	28.5	27.1	25.7
浄化槽	41.4	46.0	50.2	50.0	54.5	55.0	57.0	58.8	60.2	61.6	62.9	64.2
合計	87.6	90.3	91.7	92.0	93.7	91.7	91.5	91.0	90.5	90.1	89.9	89.9

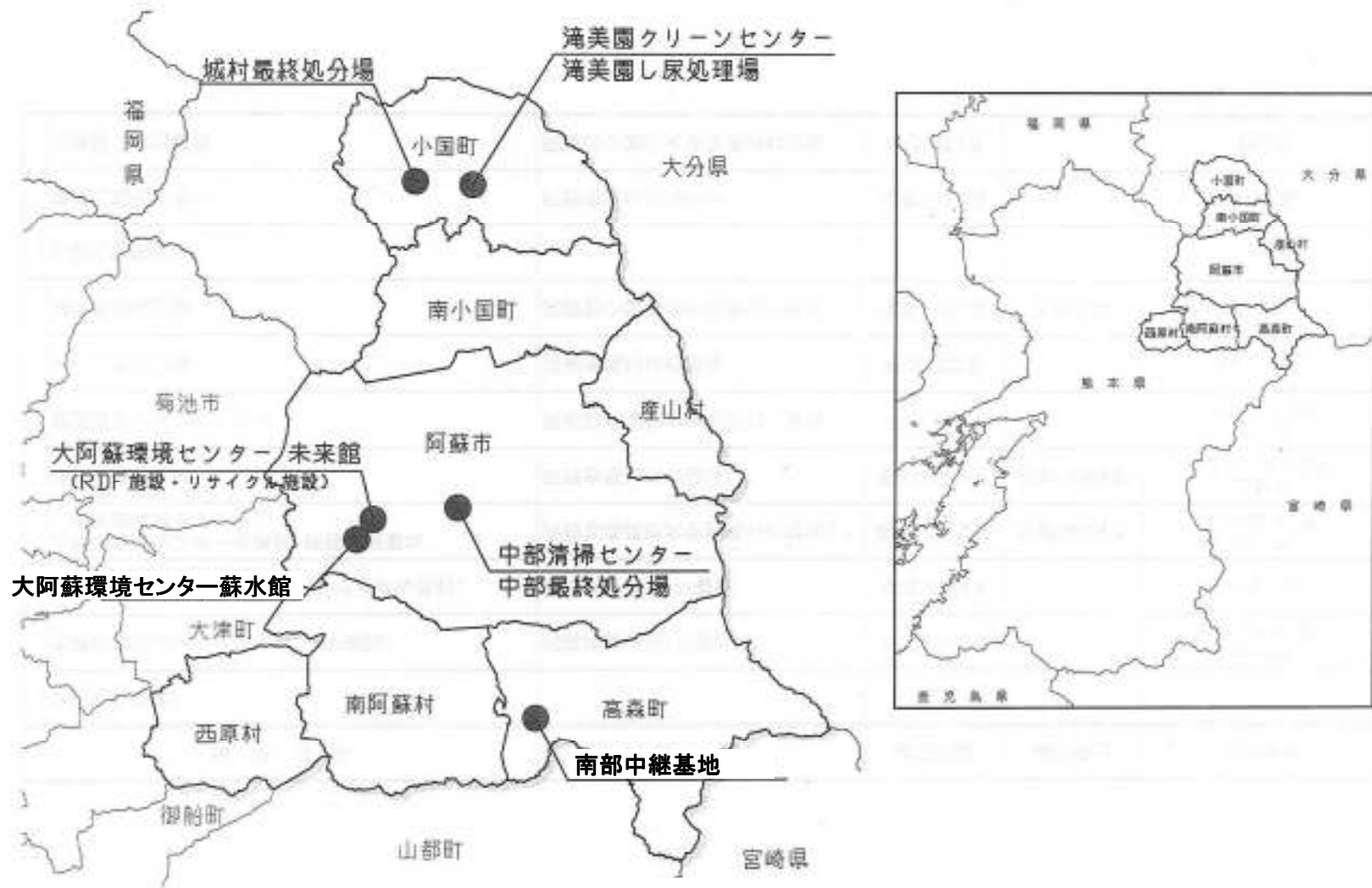


(単位:人)

	実績					予測						
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
行政人口	71,350	72,026	72,921	71,103	70,706	71,376	71,335	71,307	71,287	71,278	71,273	71,277
下水道	3,000	3,131	3,154	3,457	3,700	4,029	4,567	5,368	6,112	6,709	7,201	7,562
農集排	856	983	1,021	1,071	1,353	1,904	2,368	2,775	2,823	2,822	2,870	2,869
単独浄化槽	17,879	17,544	17,573	17,643	16,375	16,093	15,429	14,767	14,175	13,594	13,048	12,537
合併浄化槽	10,893	12,606	14,492	15,584	17,646	19,170	20,683	22,174	23,700	25,229	26,562	27,954
自家処理	3,175	2,670	2,511	2,182	1,902	1,708	1,478	1,255	1,038	826	617	409
汲取し尿	35,547	35,092	34,170	31,166	29,730	28,472	26,810	24,968	23,439	22,098	20,975	19,946



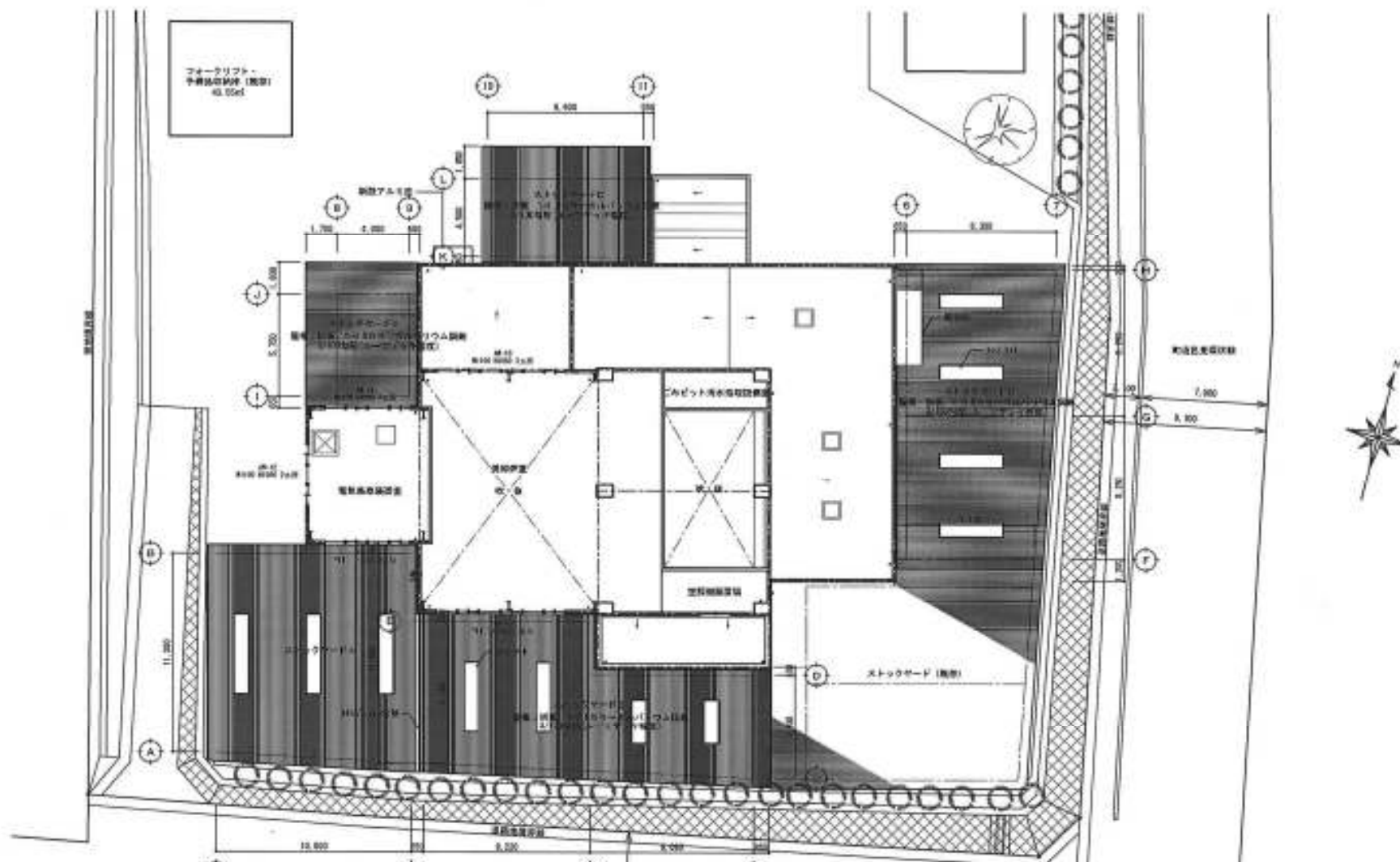
別添 2 整備計画対象地域図、現有施設の概要



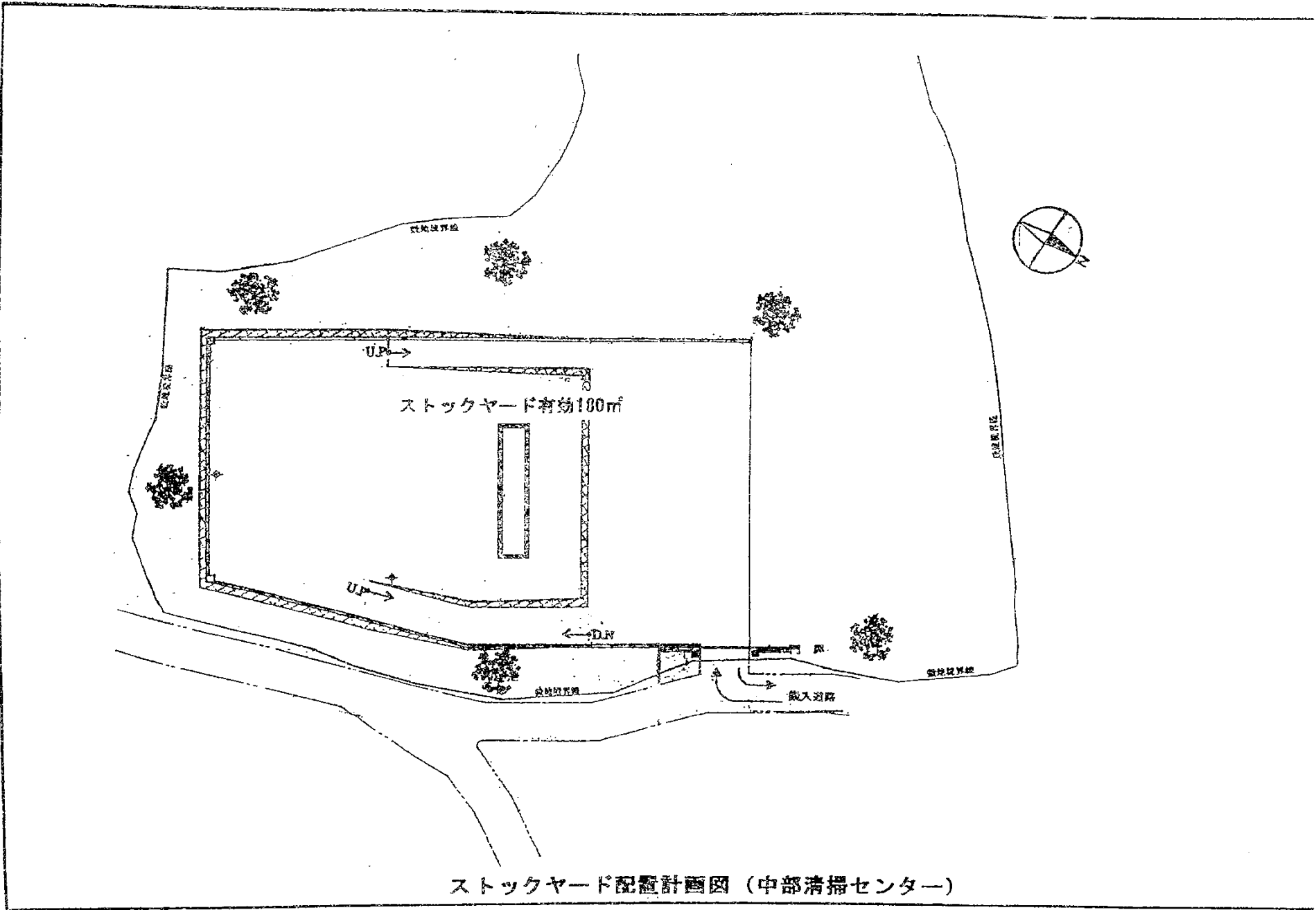
整備計画位置図(1)

施設名称	位置	建設年度	稼働停止	施設規模
(ごみ処理施設)				
大阿蘇環境センター未来館 (RDF施設)	阿蘇市跡ヶ瀬177番地	平成14年8月		62t/日 (31t/8h×2基)
大阿蘇環境センター未来館 (リサイクル施設)	阿蘇市跡ヶ瀬177番地	平成15年4月		36t/日 (5h)
大阿蘇環境センター未来館 南部中継基地 (旧南部清掃センター)	阿蘇郡高森町大字色見1997番地2	昭和60年11月	平成14年8月	22t/日 (11t/8h×2炉)
中部清掃センター	阿蘇市黒川1893番地1	昭和55年3月	平成14年8月	25t/日 (12.5t/8h×2炉)
滝美園クリーンセンター	阿蘇郡小国町大字宮原2941番地	平成7年3月		20t/日 (10t/8h×2炉)
中部最終処分場	阿蘇市黒川1847番地	平成3年5月		54,000m ³
城村最終処分場	阿蘇郡小国町大字黒淵城村地内	昭和48年2月	平成10年	720,000m ³
(し尿処理施設)				
衛生処理センター	阿蘇市赤水256番地4	昭和43年3月		36kL/日
滝美園し尿処理場	阿蘇郡小国町大字宮原2941番地	平成2年3月		18kL/日

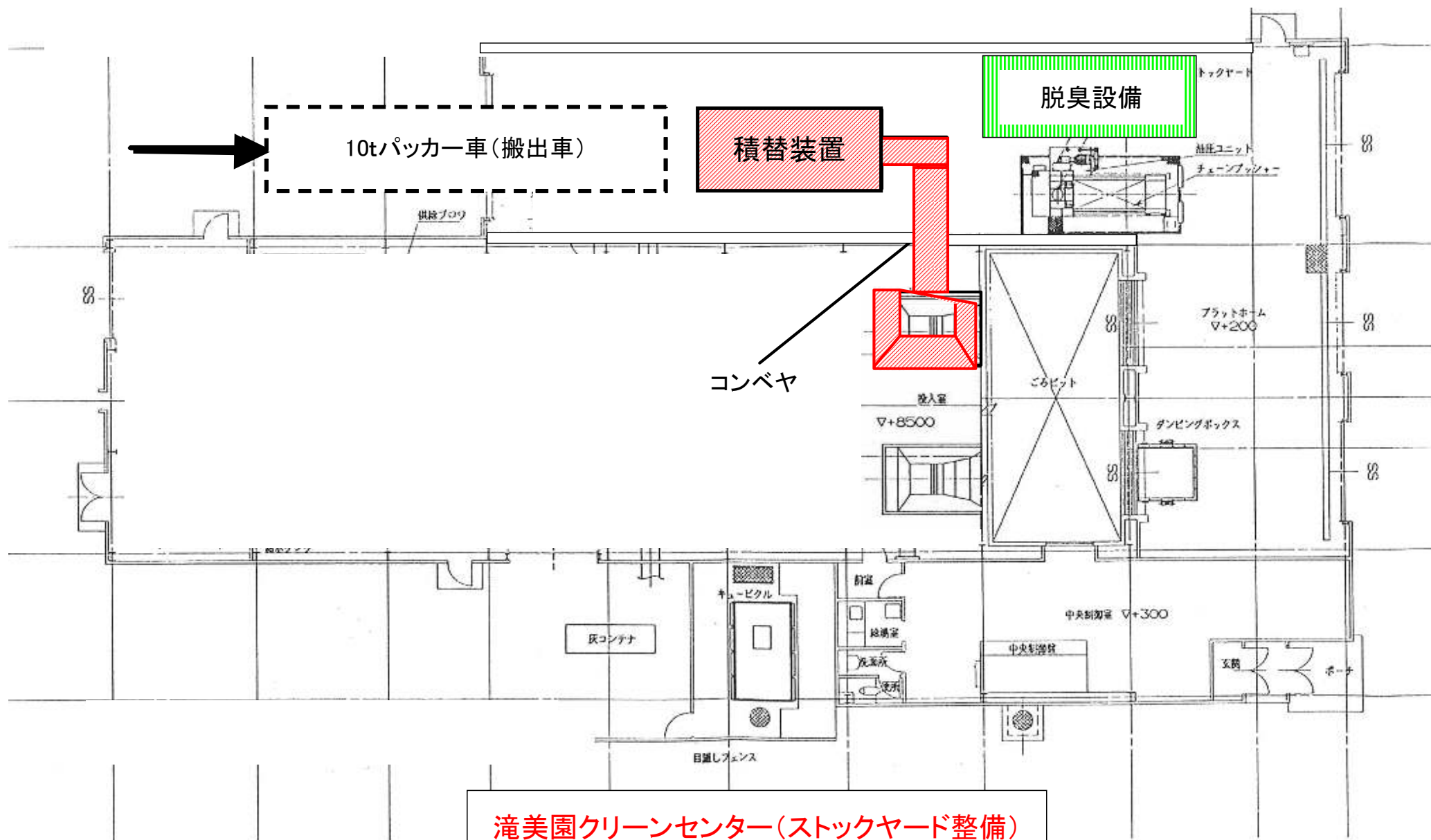
参考資料-1 整備施設概要図



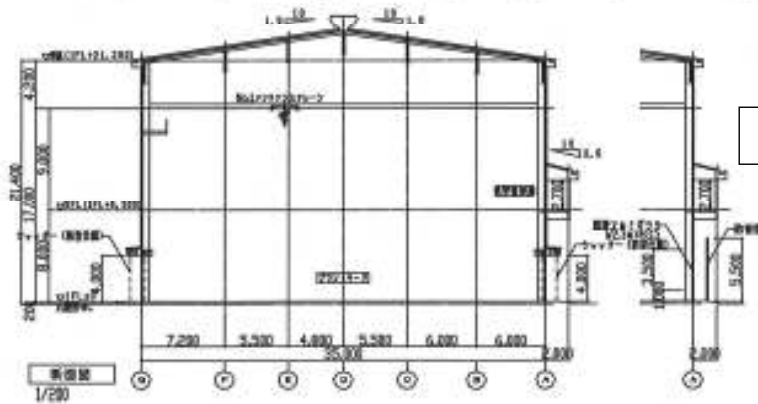
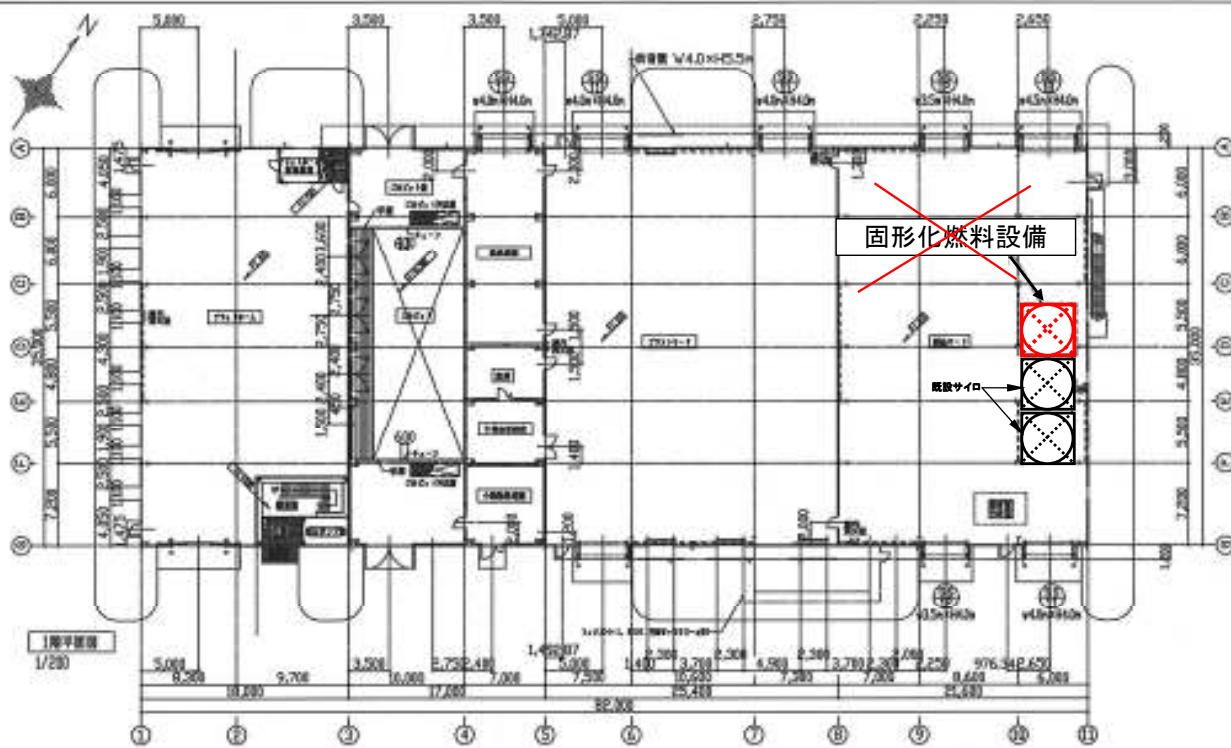
南部中継基地ストックヤード整備工事(配置計画図)



ストックヤード配置計画図 (中部清掃センター)



滝美園クリーンセンター(ストックヤード整備)



大阿蘇環境センター未来館(ストックヤード整備)